

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

N,N-ジメチル-N-オキサイドドデシルアミンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖
阻害試験

試験番号

NMMP/E 9 8 / 3 1 0 0

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年4月採択）の改訂版であるガイドライン No. 211 「オオミジンコ繁殖試験」（1997年4月提案）に準拠して実施した。

- 1) 被験物質 : N,N-ジメチル-N-オキサイドドデシルアミン
- 2) 暴露方法 : 半止水式（週に3回、試験液の全量を交換）
- 3) 供試生物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間 : 21 日間
- 5) 試験濃度 : 対照区、0.12mg/L、0.21mg/L、0.38mg/L、0.68mg/L、1.22mg/L および
（設定濃度） 2.20mg/L（公比1.8）
- 6) 試験液量 : 1 容器（連）につき 80 mL
- 7) 連数 : 10 容器（連）／濃度区
- 8) 供試生物数 : 10 頭／濃度区（1 連につき 1 頭）
- 9) 試験水温 : 20±1℃
- 10) 照明 : 室内光、16 時間明／8 時間暗
- 11) 被験物質の分析 : LC-MS/MS法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

実測濃度が設定濃度の±20%を外れたので結果の算出には実測濃度の時間加重平均値を用いた。

2) 21 日間の親ミジンコの半数 致死濃度 (LC50)

= 2.6mg/L を越える(>2.6mg/L)

3) 21 日間の 50% 繁殖阻害濃度 (ErC50)

= 1.4mg/L (95%信頼区間 : 1.2mg/L~1.5mg/L)

4) 21 日間の最大無作用濃度(NOECr) = 0.36mg/L

5) 21 日間の最小作用濃度(LOECr) = 0.82mg/L

(上記濃度は、実測濃度の時間加重平均値に基づく値である)